

エコプラザ西東京ニュース



エコエコ
eco eco 第 15 号

発行 エコプラザ西東京

〒202-0011

東京都西東京市泉町 3 丁目 12 番 35 号

TEL 042-421-8585 FAX 042-421-8586

Eメール ecoplaza@city.nishitokyo.jg.jp

太陽光ってすごい

地域エコ 『シンエイ動画』 訪問！

72 枚の太陽光パネル

発電時に CO₂ を排出しないクリーンエネルギーとして普及の促進が謳われている太陽光発電。「エコエコ」では新年度初めのテーマに「太陽光発電」を取り上げ、市内のさまざまな場所での太陽光発電をご紹介します。

第一弾として、エコプラザ協力員広報チームのメンバーが選んだのは、ドラえもんなどのアニメを制作しているシンエイ動画株式会社です。

3 月初旬、広報チームメンバー 3 人と昨年 10 月に完成した、田無町 3 丁目青梅街道沿いの本社新社屋に取材に行きました。

総務部の高野部長と久保氏のご案内を受けながらお話を伺いました。

広 報：新社屋建設にあたって、太陽光パネルの設置はどういう経緯で決められたのですか？

高野部長：当会長の楠部三吉郎の意向で、昨今企業の社会貢献が求められる中、こうした設備を設置することで地球温暖化防止へ少しでも貢献し、また子どもたちの夢を育む企業としてのアピールができるのではとの意図がありました。

広 報：どの位の発電量があり、御社の使用電力のどのくらいに当たりますか？

高野部長：年間平均で 1 日に約 50kwh の発電量¹が見込まれ、11 月の時点では、1 時間あたり 15kwh の発電量で、全館の電力使用料の約 5%をまかなっています。全部自家消費で売電はしていません。

広 報：子供たちの見学などの受け入れはされる予定ですか？

高野部長：当初は検討していましたが、今のところ行っていません。
その代わりに青梅街道に面した正面玄関横のドラえもん写真コーナー脇にディスプレイを設けて、常に発電量などが一目で分かるパネルを設置し、外から見ていただけるようにしました。

広 報：写真コーナーのスペースも当初から計画していたのですか？

高野部長：市民や地域の方々に還元できる施設にして欲しいとの地主さんの強いご要望がありましたので、ウッドデッキ調の床にし、背景にはのび太くんたちが遊んでいた空き地を描いて、ここで市内の子どもたちや親子がドラえもんと一緒に記念撮影などをしたり、ちょっとひと休みしながらアニメ動画をご覧いただけるようにしました。



青梅街道に面した
ディスプレイ

発電データ表示
パネル

¹ 50kwh = 4 LDK の一般住宅約 5 軒分に相当

広 報：太陽光発電システムの他に環境に即した取組みはございますか？

高野部長：氷蓄熱システム²を導入しています。

2階と3階の制作室は冷暖房をフル稼働させなければならないことが想定され導入しておりませんが、夜間の冷暖房を止められる1階と4階にはこのシステムを利用しています。

4階に屋上緑化と屋上庭園を設け、庭園は自動散水装置を設置しました。屋上緑化は自然の降雨で育つ植物を植えています。

また、1階の管理室で館内の照明をコントロールし、無駄な照明は消すことができるようにしています。



氷蓄熱システムの説明を伺いました

² 電力消費の少ない夜間電力を用いて製氷し、それを溶かして冷房などに利用するシステム



試写室から出入りができる屋上緑化



3月12日、新しくドラミちゃん、のび太くん、しずかちゃんが増えました！



ドラえもんとの記念撮影で取材をしめくりました

青梅街道に面したディスプレイには、表示パネルで「現在の発電状況」が表示され、日射状況、気温、発電量とともに、石油代替量や二酸化炭素排出抑制量、さらに森林面積換算量も同時に知ることができます。

またパネルは一定時間ごとにパネル表示が切り替わって、簡単な太陽光発電のしくみの表示、過去の発電実績がグラフデータで表示されます。

散歩やお買い物のついでに立ち寄り、一休みしながら太陽光発電の力にちょっと触れてみてはいかがでしょうか。会社がお休みの日もこのスペースは解放されています。お子さんやお孫さんと一緒に「地球の未来」を考えてみるきっかけにして頂くと、ドラえもんも大喜びしてくれるかもしれません。

シンエイ動画株式会社

代表取締役社長 いわなが めぐむ 岩永 恵

〒188-0011

東京都西東京市田無町3丁目9番21号
TEL 042-464-0312(代)

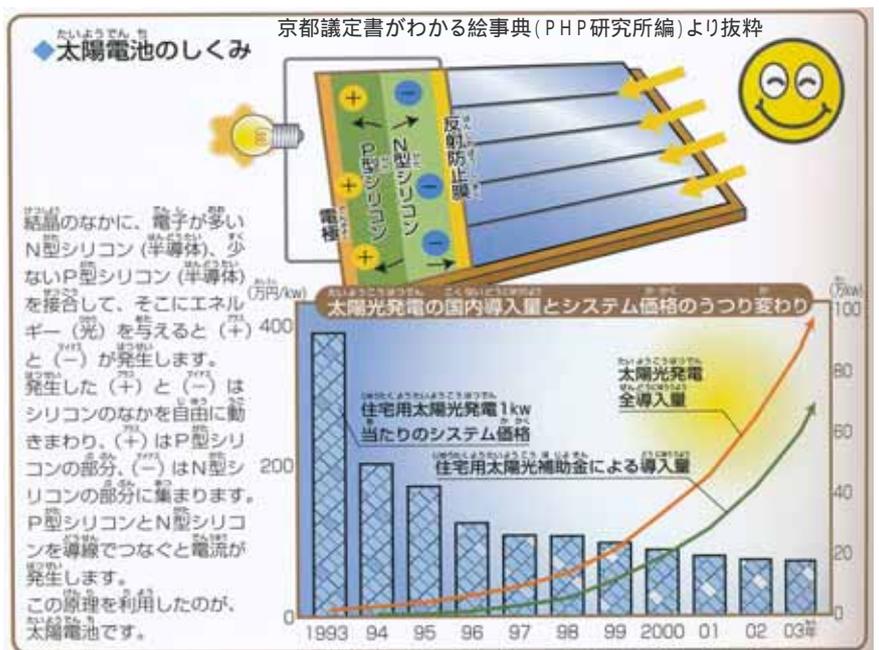
会社名の由来：

「シンエイ」とは、創業時の会社名「エイ(A)プロ」を引き継ぎ、新しいエイプロ、つまり「新A」という意味と、常にアニメ界の「新鋭」でありたいという願いを込めてつけられました。

一般家庭でも太陽エネルギーを利用して地球温暖化やエネルギー枯渇の防止に貢献することができます。

太陽エネルギーの利用には、太陽光発電システムを利用して電気を作り出す方法と、太陽熱温水器やソーラーシステムとして給湯や暖房用エネルギーを作り出す方法があります。

どちらのシステムも導入に対しての補助金制度があります。



補助金制度については東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)の受付相談窓口にお尋ねください。

電話：03-5388-3472

ホームページ：<http://www.tokyo-co2down.jp/>

— エコプラザ西東京 登録団体の活動から —

『サイロ・牛舎お別れ見学会』

「東大農場・演習林の存続を願う会」主催

3月9日火曜日、朝からの雨が集合時刻の午後2時前にはみぞれまじりとなっていました。最高気温が5度という3月とは思えない寒さとなりましたが、本館前には60人あまりの市民の方々が集まりました。

長い間、西東京市のシンボリック的存在で、色々な方々が絵に描いた東大農場のサイロと牛舎。

キャンパス整備のため3月いっぱい取り壊されるとの事を知り、東大農場存続のために活動してきた会としては、市民の方々が何も知らない間に消えてしまっていてはあまりにも寂しいとの思いから、農場をお願いをして今回のお別れ会が実現しました。



サイロの中を覗き込む見学者

普段は見ることのできないサイロの内部や、かつては60頭あまりの牛が飼育され、搾乳が行われていた牛舎の中などを見学しました。ここで搾乳された牛乳は180ccの牛乳瓶に詰められ、昭和39年当時1本10円で谷戸住宅や北原住宅などに販売され、最盛期では1日に2,600本も出ていたそうです。

東京大学米川准教授のご説明で、30有余年の歴史を振り返り、今後のキャンパスの展望などもうかがいながら、参加者は思い思いに感慨に浸っていました。

帰る頃には梅林に降り積もるくらいの激しい雪となり、東大農場の存続のために力を注いで来た会の方や、また憩いの場のシンボルとして親しんできた市民とともに空までが別れを惜んでいるかのようでした。



— エコプラザ西東京 イベント・講座からご報告 —

春のえいがまつり 3月27日(土) 12:30~16:00

アース・ビジョン(地球環境映像祭)³の作品「ミーアキャット」などの映画上映のほかにも、様々なプログラムがありました!

まずは、昨年度エコプラザ協力員の方たちと制作した環境教材です。西東京市の環境やごみ問題をテーマにした『カルタ』と『クイズ』、市内の名所を巡る『すごろく』、そして石神井川の昔と今のお話の『紙芝居』の四種類で、本邦初公開となりました。



今回は協力員の方が、参加した子どもたちと一緒に教材で遊び、やさしく環境のお話をしてくださったので、わいわい楽しみながら勉強にもなったと大好評でした!

また、「エコキャップとお菓子の交換コーナー」では、皆さんが大量にエコキャップをお持ちになり、ホットケーキやポップコーンと交換、受付の後ろには予想をはるかに上回るエコキャップの山ができました!

このホットケーキにはエコプラザ登録団体「西東京 菜の花エコ・プロジェクト」のご協力で、手作業の搾りたて菜種油を使用しました。きつね色に焼きあがり、ほかに菜の花の香りを感じるホットケーキで、とてもおいしかったです。

キャラ丸くんとドク丸くんが遊びに来ました



映画の上映の合間には、キャラ丸くんとドク丸くんが得意のダンスを披露、参加していただいた沢山の方のご協力のおかげでとても楽しい一日となりました!

今回持参して頂いたエコキャップ、通常はエコプラザ1棟1階に回収ボックスが設置され、「チャリティーリサイクル市民の会」が回収しています。今後もぜひお持ちください!

³映像を通して、地球を考える、アジアで最も歴史のある国際環境映像祭で、優れた環境映像、映像製作者が披露されています。



エコプラザ西東京 講座・イベントのご案内

日 時	事業・講座名	場 所	定員・対象 募集期間	内容など
4月17日(土) 10:00～12:30	フライパンひとつで 簡単クッキング プラスワン 主催:『緩り』 (エコプラザ西東京登録団体)	プラザ棟2 多目的スペース	定員 20名(先着順) 5歳以上の市内在住・ 在勤・在学の方(子ども優先) 募集受付中	5歳以上のお子さんでも作れる簡単クッキング。さまざまなエコアイデアを学びながらフライパンひとつでできるお料理です。 メニュー:三色丼・きんぴらごぼう・桜餅 講師:『緩り』(エコプラザ登録団体) 参加費:2,500円(材料費、保険代、テキスト代) 持ち物:エプロン、三角巾、手拭タオル
5月14日(金) 5月21日(金) 5月28日(金) 10:00～15:00	省エネ講座 「みんなで浴衣をつくり ましょう」(3回連続講座) 主催:エコプラザ西東京	プラザ棟2 多目的スペース	定員 15名(先着順) 市内在住・在勤・在学 の18歳以上の方 募集受付中	和裁の基礎から学びます。手作りゆかたで夏を涼しく過ごしましょう。(保育あり) 講師:リユース 和, の会(エコプラザ登録団体) 持ち物:裁縫道具、昼食、ほか
5月15日(土) 13:30～15:30	リサイクルアートスペース によきによき ワークショップ ～レジャ教育 in 西東京～ 主催:エコプラザ西東京	プラザ棟2 多目的スペース	定員 25名(先着順) 市内在住・在学の4歳 ～小学3年生とその保 護者 5/2(日)より先着順に て受付中	さまざまリサイクル素材を使いながら思い思いの形を表現します。 講師:石井希代子氏 協力:武蔵野大学環境学科「レジャ武蔵野プロジェクト」ほか
ダンス練習日 5月22日(土) 5月29日(土) 6月5日(土) 6月12日(土) 10:00～11:30 5月27日(木) 6月3日(木) 6月10日(木) 6月17日(木) 18:30～20:00	 エコダンスを踊りましょう! in 環境フェスティバル 主催:エコプラザ西東京	 プラザ棟2 多目的スペース	定員 50名(先着順) 市内在住・在勤・在学 の方ならどなたでも 4/17(土)より先着順に て受付中 参加できる日程でご参加 ください。	不用になったペットボトルなどからエコ楽器を作ったり、古着を再利用したり、どなたでも気軽に参加できるダンスを楽しめます。6月19日(土)20日(日)の環境フェスティバルでのパフォーマンスが目標です。 講師:エコプラザ協力員 三木美奈子氏 協力:協力員事業企画チーム ダンスサークルKsパワー
6月13日(日) 10月24日(日) 13:00～16:00	省エネ講座 緑のカーテン (2回講座) 主催:エコプラザ西東京	 プラザ棟2 多目的スペース	定員 20名(先着順) 市内在住・在勤・在学 の方で両日参加できる 方 募集開始日程は未定 (決定次第お知らせし ます)	第1回目 緑のカーテンの意義や効果、作り方の講義と実践 第2回目 省エネ効果の報告会と株分けの実践 講師:金井修氏

【講座の申込み方法】

電話・FAX・Eメールにて、名前(ふりがな)・住所・電話番号・年齢(学年)と講座名、中学生以下の方は保護者のお名前を添えてお申込みください。

問合せ及び申し込み先

TEL 042-421-8585 FAX 042-421-8586 Eメール ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp

西東京市のホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

(トップページ 暮らし 環境 エコプラザ西東京)でも詳細情報を掲載しています。

定員のある講座・イベントなどは西東京市内在住・在勤・在学の方が優先となります。

また日程や内容が若干変更となる可能性もありますのでご了承ください。



「エコプラザ西東京協力員」チーム会議日程(予定)

チーム名	日 時	場 所	内 容
展示工作	4月16日(金) 14:00～	プラザ棟1 講座室2	ジオラマ模型試作検討、日程確認ほか
事業企画	4月23日(金) 10:00～	プラザ棟1 講座室2	エコダンス事前準備、役割分担ほか
書籍映像	5月12日(水) 14:00～	プラザ棟1、2階学習コーナー	学習コーナーレイアウト、図書整備など
広 報	5月13日(木) 13:30～	プラザ棟1、2階学習コーナー	第16号発行計画、掲載内容確認など

いずれの会議もご興味のある方は事前にご連絡の上、ご参加ください。

詳しくはエコプラザ西東京までお問い合わせください。

TEL 042-421-8585 FAX 042-421-8586 Eメール ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp



お奨め映画情報 -

『オーシャンズ』 2009年作品 (仏)
ティーフワイリミテッド / 配給 GAGA
監督 ジャック・ペラン & ジャック・クルーゾー

「海とは・・・」。

ある少年の問いかけに先生が答える形で、一口では語りつくせないその深い世界を、驚異の映像でやさしく紹介します。

全編の多くは生物のダイナミックな営みと厳しい自然が、想像を超えた臨場感と躍動感で紹介されますが、終わりの方では人間がその自然に対していかに多くの影響を与えているか、衝撃的な映像で示されています。

監督は前作「WATARIDORI」の時と同様、画期的な映像システムで、すぐれたネイチャードキュメントに仕上がっています。

地球の営みと人間のかかわりに心を寄せる人には是非見てほしい映画です。

お奨めポイント！

ダイナミックなバンドウイルカの大群やザトウクジラの捕食シーン、5万匹のクモガニの交尾や、前足で赤ちゃんを抱くセイウチの愛情など、未体験の感動を約束します。なかでもフカヒレを切り取られて死んでゆくサメのシーンなどは、あまりガイドには紹介されませんが、ショッキングなもので、実情を誇張しすぎる、と抗議されたほど。

使用されたフィルム267kmのうち本編に選抜されたのは0.4%ほどとか。その濃厚な映像はお勧めです。

1月からの一般公開で、残念ながらほとんどの映画館では終了してしまいましたが、一部の映画館で4月半ばまで上映されています。DVD化が待たれます。

エコプラザ西東京協力員(書籍・映像チーム)高濱 劭

私のイチオシ - 書籍

地球の環境をまもる世界基準
『京都議定書がわかる絵事典』
PHP研究所編集



「京都議定書」と聞くと、拒否反応を起こしてしまう人にもお奨め！

3つの章に分けてわかりやすく説明されています。

第1章は、「京都議定書」がいつどうしてできたのか、どんな取り決めなのかを理解することができます。

第2章は、地球温暖化でどんなことが起こり、その原因が具体的に理解できます。

第3章は、温暖化はどうしたら防ぐことができるのか。国や企業がやらなければいけないこと、私たちが身近なところでできることがわかります。

子どもから大人まで使え、地球温暖化をふせぐ基本知識が身につきます。

目次や索引から知りたいことや調べたいことばをさがせるのでお友達同士や親子で楽しく環境学習ができます。

日本が国としてやるべきことは何か、わたしたちは何をすればいいのかを考えるきっかけにもおすすめです。

この本はエコプラザ西東京の学習コーナーで閲覧できます。

エコプラザ西東京スタッフ 永野

マイ「エコ」紹介します！

私のトマト解禁日 -

今、赤いトマトは一年中店頭を飾っているスーパー野菜だ。

しかも食べてみると、季節外れというのに、昔と異なり、色・味ともに結構いける。

価格だって、栽培技術の向上や消費の拡大に支えられ、ほどほどに求めやすくなった。

暖房の効いた部屋で、見た目にも美しいトマトベースのグリーンサラダなんて、お洒落かもしれない。

でも、いつからか、私はトマト、ナス、きゅうりに代表される夏野菜を、一年の半分以上は安直に買わないようにしている。なにも地球温暖化によるライフスタイルを考えて、台所からCO₂の排出量を減らそうと大見得をきったことでもない。

動機は実に単純。「まずい」「これは変」、私の動物的感觉が拒否反応を起こしたからに他ならない。あんな見せ掛けの物に対価を払うなんて...と。

高エネルギー社会に住み、豊かな消費生活を送っている私達は、地球市民として、地球温暖化の問題を個々のものとして考え、行動することは避けて通れない。

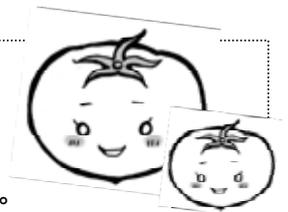
国産の温室栽培トマトは、生産に掛かるCO₂の排出量が、輸送の約5倍も要するとも言われている。設備によっては、総排出量で比べると、外国産の露地栽培物より多くなることもあるとか(日本LCA学会まとめの試算より)。

食べ物によるCO₂の排出を考える時、産地から食卓までの輸送距離も示す「フードマイレージ」も大事ですが、身近にあるエネルギー漬の野菜の消費もいかなものなのでしょうか。

私の『マイエコ』は、地産地消だけでなく、安くておいしい、環境にやさしい旬のものを食べる「旬産旬消」です。

例年、私の「トマト解禁日」は、関東周辺の露地物トマトが店頭に出回る頃。

今年はいつごろになることやら...。とても楽しみです。



エコプラザ西東京協力員(広報チーム) 金成ハツエ



リレーエッセー ヤゴ救出作戦への思い

とよあしはら ちいほあき みずほ くに うま あきずしま
豊葦原の千五百秋の瑞穂の国(葦が茂り、何千年も稲穂の稔る国)。美し国ぞ秋津州大和の国は。

秋津とはトンボの古語。古事記や日本書紀の中の日本国を称える 節です。

小学生の頃、黄金色にゆれる稲穂の上を飛び交うトンボの群れを思い浮かべ、子ども心にも日本はいい国だなあと考えたものでした。

神代の昔から日本の原風景の中にいたトンボ。その幼虫の「ヤゴ」が、小学校のプールの中でたくさんの命を落としています。プールには、夏の終わりとともにどこからともなくトンボが現れ、水面にお尻を打ちつけて卵を産み落とします。学校のプールには一年中水がためてあり、そこに泥や落ち葉が溜まって腐り、藻やプランクトンが増え、色々な生きものが集まります。一つのプールには少なくとも400～500匹、多い時は3000匹ものヤゴがいるそうです。

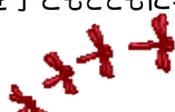
卵から幼虫になったヤゴはミジンコやユスリカの幼虫のような小さな生き物を食べて大きくなり、初夏には羽化してトンボになります。ちょうどその頃、小学校では水泳授業に向けプールの水を抜き、清掃をします。すると、ヤゴ達もまた水と一緒に下水管に流れて全滅してしまいます。

ヤゴ達の小さな命を守るために、水を抜く前に救出して育て、トンボにして空にかえしてあげようという、「ヤゴ救出作戦」が全国に広がっています。西東京市内でもいくつかの小学校で取り組み始めているところもあるようです。

今年は国連の「国際生物多様性年」であり、10月にはCOP10も開催されます。人と自然が調和して多様な生物の営みが行われる、生物多様性は一度喪失してしまうと元に戻すことはできません。

「ヤゴ救出作戦」は生物多様性の身近な第一歩として注目されています。

子どもたちと一緒にプールに入り、ヤゴを救い、羽化するまで飼育観察し、トンボを大空に放つ感動。小さな命とのふれ合いを通して、一番大事な命の大切さを子どもとともに学びたい。美しい秋津州大和の国、瑞穂の国の実感を子ども達にも伝えていきたいものです。



エコプラザ西東京協力員(広報チーム)宮崎啓子

お知らせ -

平成22年2月10日発行の「エコエコ第14号」でお伝えしましたが、この4月より「エコプラザ西東京」が環境学習の拠点として機能をパワーアップするため、協力員メンバーに新たな活動をお願いしています。

この「エコエコ第15号」は協力員広報チームメンバーの活動で制作した第1号です。

広報チームメンバー(順不同、敬称略)

金成 ハツエ
宮崎 啓子
山口 ヒロ子
谷島 厚子

今後よろしくお願ひします。

なお、一緒に広報として活動をされてみたい方、印刷や配布のお手伝いだけでもOKです。ご興味があれば一緒に協力員としてご参加ください。

エコプラザ西東京協力員を募集しています!

環境に関心のある方、仲間と一緒にエコ活動をしてみたいと思っ
ている方、ぜひエコプラザ西東京の協力員になって活動してみま
せんか。

活動

事業企画チーム 広報チーム 工作・展示チーム
書籍・映像チームの4チームでの定期的な活動
上記以外のエコプラザの活動に関する提案
主催事業などでのお手伝い

登録期間

2年

詳細はエコプラザ西東京にお問い合わせください。

エコプラザ西東京 TEL:042-421-8585

FAX:042-421-8585

Mail:ecoplaza@city.nishitokyo.lg.jp

エコプラザ西東京の新スタッフを紹介します!

平成21年12月1日より「エコプラザ西東京」の新しいスタッフになりました黒田です。

「まだまだヒヨっ子ですが頑張ります。よろしくお願ひします!0(* *)0」



似顔絵などのイラストには西東京市内在住の吉田育代さんのご協力を頂いています。



交通

西武池袋線保谷駅から
バス吉祥寺駅・三鷹駅・田無駅行
保谷庁舎下車
西武池袋線保谷駅から
はなバス第2ルート 保谷庁舎下車
西武池袋線ひばりヶ丘駅から
はなバス第5ルート 保谷庁舎下車

西武新宿線田無駅から
バス保谷駅・天神山行 荒井竹下車
西武新宿線西武柳沢駅(柳沢駅通り
バス停)からバス保谷駅・天神山行
荒井竹下車
西武新宿線東伏見駅から
はなバス第2ルート 保谷庁舎下車

休館日のお知らせ

4月19日(月)
5月17日(月)